

山梨県産業安全衛生大会が開催されました！

令和7年10月2日、山梨県立文学館講堂において「令和7年度山梨県産業安全衛生大会」が約260名の参加により、盛大に開催されました。

大会では、安全衛生水準が良好で労働災害防止の取組がほかの模範と認められる事業場等に対して山梨労働局長表彰が贈られるとともに、安全で健康に働くことができる職場環境の形成を実現するため、県内全ての関係者が一丸となって労働災害防止に取り組むとした「大会宣言」が採択されました。

また、「高年齢世代の災害事例から、読み解く対策・進めるゼロ災」と題した中央労働災害防止協会安全衛生エキスパートの加藤雅章氏による特別講演のほか、県内2事業場による安全衛生活動に関する事例発表が行われました。



主催者：（一社）山梨県労働基準協会連合会
関会長挨拶



主唱者：山梨労働局長 岩崎局長挨拶



大会宣言
陸上運送事業労働災害防止協会山梨県支部
早川 禮史 氏



来賓祝辞
山梨県医師会長
鈴木 昌則 氏

山梨労働局長 安全衛生表彰

局長奨励賞



三井農林株式会社 須玉工場

局長奨励賞



株式会社内藤ハウス
株式会社リガク 山梨新工場建設工事

局長安全衛生推進賞



飯田 富士雄 氏
元 林業・木材製造業労働災害防止協会山梨県支部
事務局長

特 別 講 演

『高年齢世代の災害事例から、読み解く対策・進めるゼロ災』

中央労働災害防止協会

安全衛生エキスパート 加藤 雅章 氏

事 例 発 表

事例発表1 『ものづくりカイゼンと労使による安全衛生の取り組み』

矢崎ネットワークシステムズ株式会社 会長 多田 真敏 氏

(令和6年度：山梨労働局長 奨励賞受賞)

事例発表2 『建設業労働安全衛生マネジメントシステム

COHSMS (コスモス) を展開して』

齋藤建設株式会社 代表取締役 齋藤 啓文 氏

(令和6年度：山梨労働局長 奨励賞受賞)

大会宣言

山梨県内の労働災害による死傷者数は、昭和35年をピークに長期的には減少傾向にあるものの近年は増減を繰り返しながら推移している。令和6年の新型コロナウイルス感染症を除く休業4日以上の労働災害は896人と前年より15人減少したものの、依然、高止まりの状況が続いている。また、労働災害による死者数は、8年連続して一桁台となったものの、6人の尊い命が失われた。

一方、労働者の健康を取り巻く環境をみると、一般健康診断による有所見率は増加傾向にあり、全国平均と比べてもその割合は高く、受診者の約6割が脳・心臓疾患につながる所見を始めとした何らかの所見を有している状況にある。

加えて、過重労働や化学物質などを原因とする健康障害防止対策及び職場におけるメンタルヘルス対策の推進等、労働者の心身両面にわたる健康確保や病気を抱えた労働者の治療と仕事の両立支援が重要な課題となっている。

このような状況の中、労働災害を減少させ、働く者の安全と健康を確実なものとするため、経営トップの力強いリーダーシップの下、労使が「安全第一」という不変理念に基づき一致協力し、事業場における自主的な労働災害防止活動や労働衛生活動の充実及び強化に取り組むことが求められている。

令和7年度山梨県産業安全衛生大会の開催にあたり、本大会を契機に、労働災害のない安全で健康に働くことができる職場環境の形成を実現するため、山梨県内の全ての事業者、労働者、関係団体及び行政が一丸となって、労働災害防止に取り組むことをここに宣言する。

令和7年10月2日

令和7年度 山梨県産業安全衛生大会